

図4. 図3のA地点で観測されたサイドスキャンソナーによる音響画像。明るい部分が反射強度の強い領域に対応する。液状化による噴出（泥火山：白丸で囲んだ領域）とみられる円錐形の高まりがあり，頂部にはクレーターが認められる。

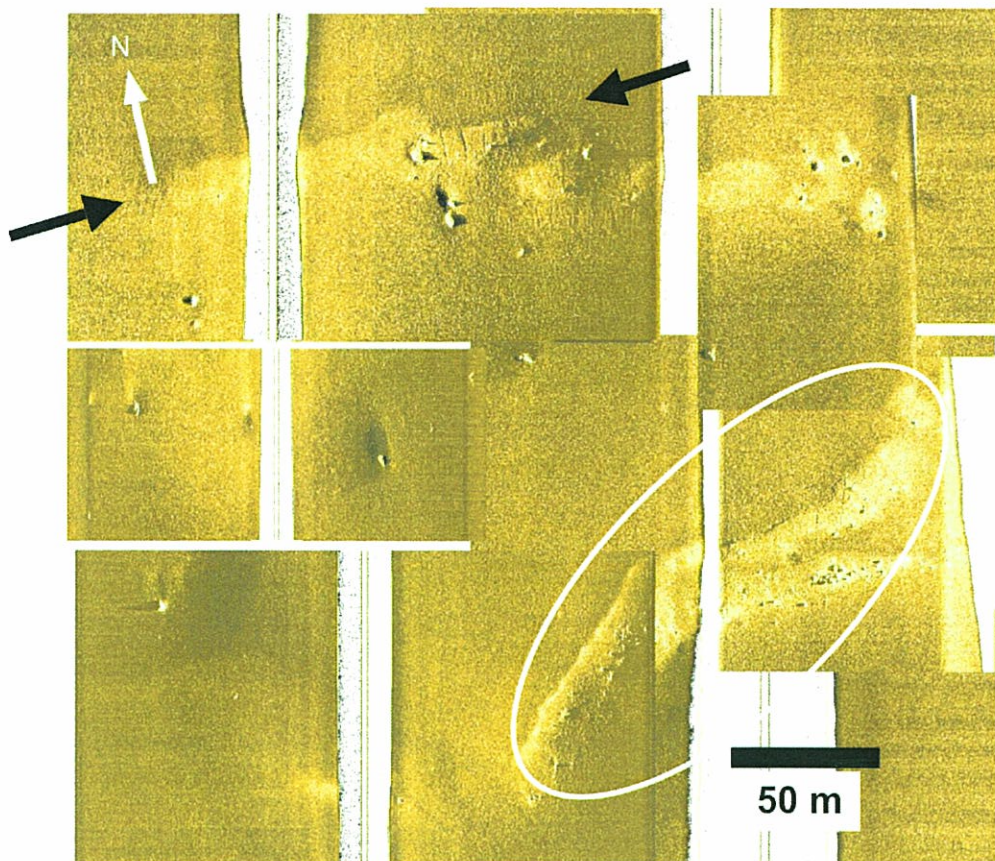


図5. 図3のBで示した領域で得られた音響画像を貼り合わせたもの。右下の白い楕円で囲まれた領域では，海底表層の堆積層下の岩盤が露出しているように見える。また，左上方の2つの矢印で示した線状の部分では，矢印で結ぶ線の北側が沈降し南側が隆起している。これは，今回の地震の断層運動から予想される変動と調和的である。